

2022 年 9 月 30 日

「心臓植込みデバイスから解析した血液透析患者の不整脈発生時期に関する検討」

1. 研究の対象

大阪急性期・総合医療センター心臓内科で、西暦 2008 年 1 月 1 日～西暦 2020 年 12 月 31 日までの間に、ペースメーカー・植込み型除細動器・両心室ペーシングなどの心臓植込みデバイスが新規に植え込まれた血液透析患者さん。ただし、慢性心房細動の患者さんは対象となっておりません。

2. 研究目的・方法

「目的」：心臓植込みデバイスの不整脈検出・メモリー機能を用いて、不整脈発生情報を調査することを目的としています。

「方法」：植込み後から 1 年間の記録をカルテより調査し、不整脈発生状況を調査します。

「研究期間」：大阪急性期・総合医療センター 倫理委員会承認後～2023 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる情報の種類

- ①患者基本情報：年齢、身長、体重、性別、BMI、既往歴、治療歴 等を調査
- ②不整脈発症時の状況：発生不整脈、発症時間、持続時間 等を調査
- ③血液検査情報：デバイス植込み時の血液検査を調査
- ④心臓超音波検査情報：デバイス植込み前後の情報を調査
- ⑤心臓植込みデバイス情報：機種、設定 等を調査

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 臨床工学室

研究責任者：木田 博太

電話 06-6692-1201 内線 7146